

みえの子ども白書

2012

概要版



三重県は、「子どもが豊かに育つことができる地域社会」の実現に向けて、地域のさまざまな主体がともに連携して取り組むため、平成23(2011)年4月1日に「**三重県子ども条例**」を施行しました。

この条例に基づく調査の結果を中心に、子どもの生活実態や意識、とりまく大人の意識や社会の状況等をまとめた『みえの子ども白書2012』のあらましをご紹介します。



三重県子ども条例に基づく調査 『第1回調査』

子ども調査(アンケート)
小・中・高 合計6,206件
(特別支援学校含む)

- (主な項目)
- 家族との関係
 - 相談相手、居場所
 - 将来の希望や夢
 - 自己肯定感
 - 自己決定
 - 地域とのかかわり
 - 地域での取り組み

保護者調査(アンケート)
小・中保護者 合計3,892件
(特別支援学校含む)

- (主な項目)
- 子どもとの関係
 - 子どもの自己肯定感
 - 子どもの自己決定
 - 子どもの意見の傾聴
 - 地域とのかかわり
 - 地域での取り組み

県民調査(アンケート)
20歳以上の県民 1,135件
(選挙人名簿から無作為抽出)

- (主な項目)
- 地域とのかかわり
 - 今の子ども観
 - 地域の子どものかかわり
 - 子どもに接するときの心がけ
 - 地域での取り組み
 - 地域のありかた

●今後の展開の基本的な考え方●

白書の内容を地域に還元

(子ども、保護者、学校関係者等、地域の企業・団体、県民、市町…)

気づき、理解を
促進する

家庭や地域の
養育力を高める

県政に
反映する

地域における子育て支援を効果的に展開＝協創の取り組み

●今後の具体的な展開●



子ども自身による分析、話し合い(子ども会議等)

保護者による理解の促進(PTAとの協働事業等)

学校関係者等との情報共有



地域のさまざまな主体との調査内容の共有(フォーラム等)

県政の各分野での子どもの声の共有(キッズモニター等)



子どもをとりまくあらゆる主体の協創による取り組み

子ども、保護者、学校関係者等、地域の企業・団体、県民、市町行政など地域の各主体がそれぞれに現状を受け止め、情報や意見の交換などをとおして互いの理解を深め、連携しながら子どもの育ちを支えるための取り組みが広く展開される地域の実現をめざします。

「みえの子ども白書」の
詳しい内容については

<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/>



平成24(2012)年3月

三重県健康福祉部こども局こども未来室

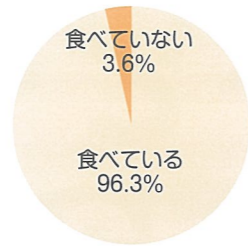
〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2269 FAX 059-224-2270 Eメール kodomom@pref.mie.jp

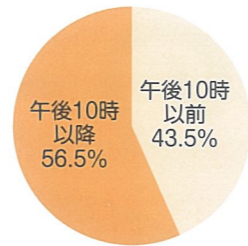
三重県

●子どもの生活習慣*

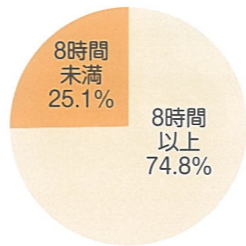
【朝食の摂取】小6



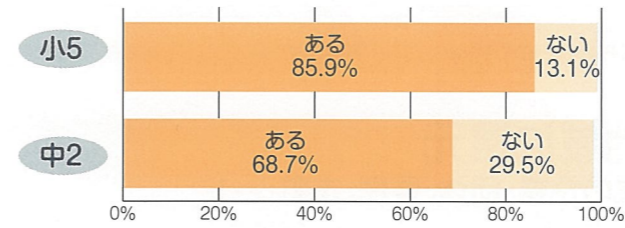
【就寝時刻】小6



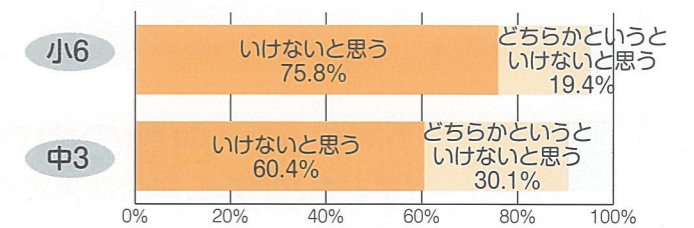
【睡眠時間】小6



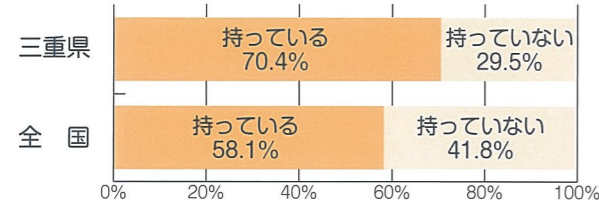
●夢や将来の希望があるか(子ども調査)



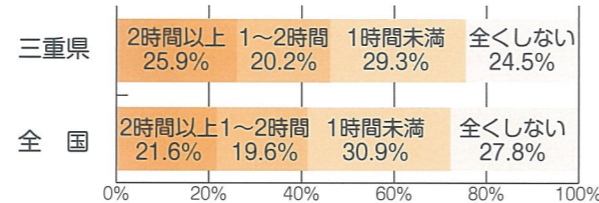
●いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか*



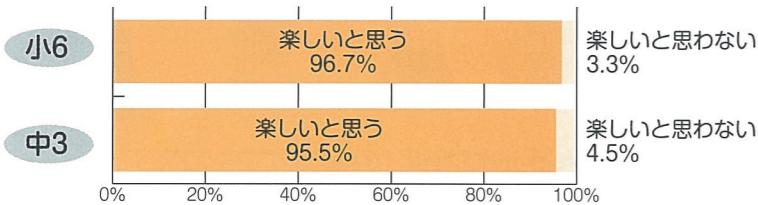
●携帯電話の所持状況* 中3



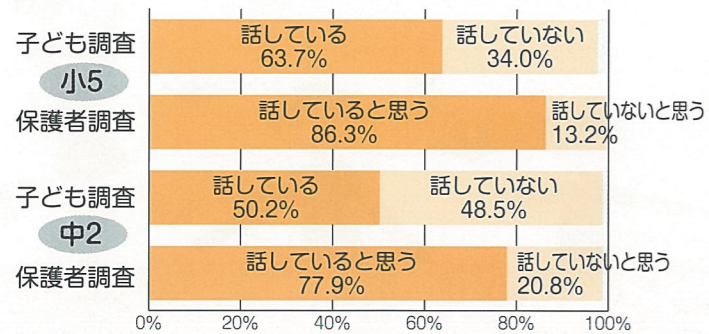
●テレビゲームの時間* 中3



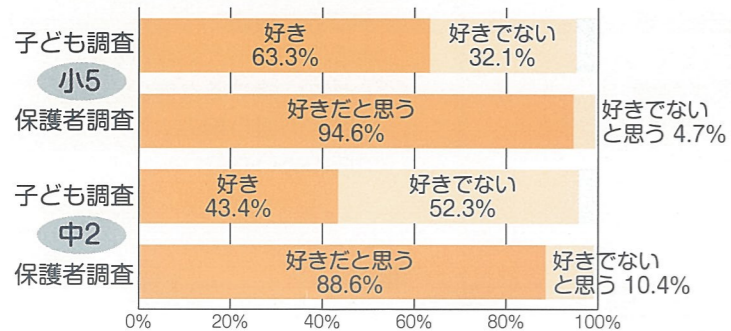
●学校で友達に会うこと*



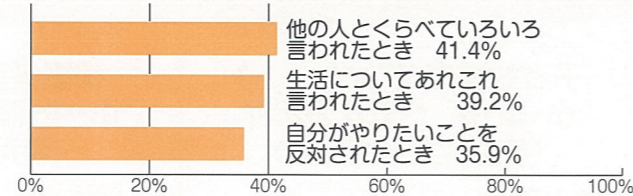
●困ったことや悩みを家の人に話しているか



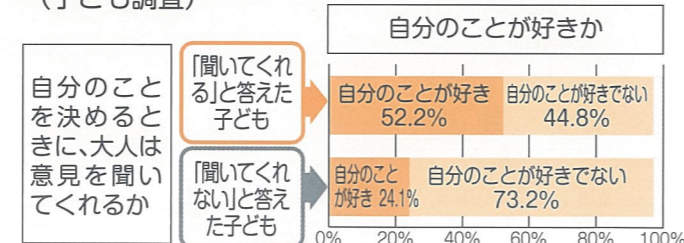
●自分のことが好きか(子どもは「自分のことが好き」と思うか)



●家の人に言われて、いやな気持ちになること(子ども調査・複数回答) ※上位3項目



●大人の傾聴姿勢と子どもの自己肯定感(子ども調査)



みえの子ども白書 2012

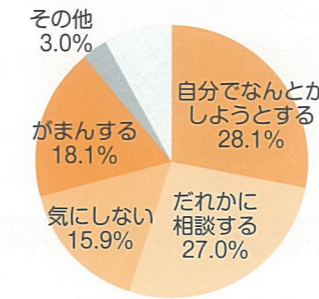
【第1章】子どもの生活
「家庭」「学校」「社会」の各場面における子どもの生活実態

【第2章】子どもの気持ち
子どもの「自己肯定感」「規範意識」「悩みと相談相手」の現状

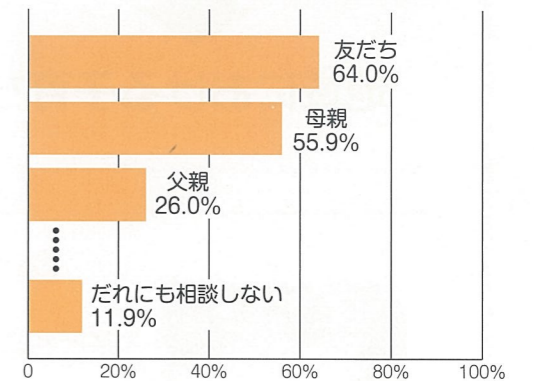
【第3章】子どもと大人
「家庭との関係」「大人の理解・姿勢」「子どもの自己決定」にかかる子どもと大人の意識

【第4章】子どもと地域
子どもの育ちを支える「地域の応援」「大人のかかわり」と「子どもの地域への愛着」

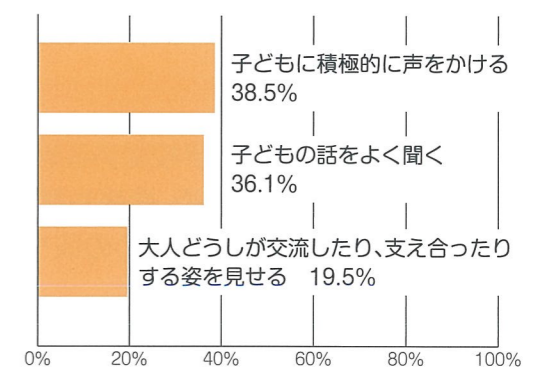
●つらいきもちになったときにどうするか(子ども調査)



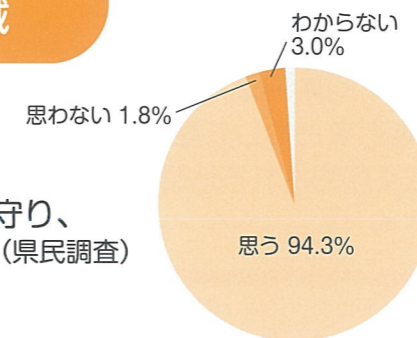
●悩みごとの相談相手(子ども調査・複数回答)



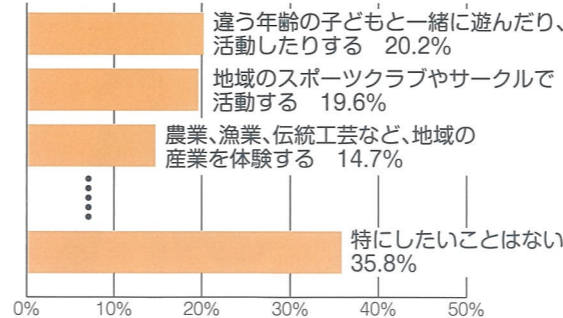
●近所の子どもと接するときの心がけ(県民調査・複数回答) ※上位3項目



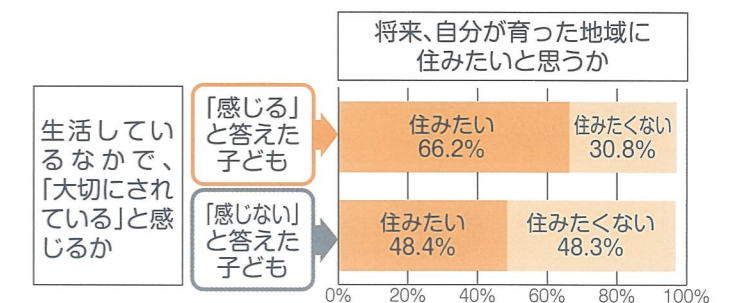
●子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うか(県民調査)



●地域で取り組んでみたいこと(子ども調査・複数回答)



●大人からの愛情と地域への愛着(子ども調査)



注:この概要版では、わかりやすくするために、設問の選択肢にある「どちらかといえば〇〇である」を「〇〇である」に集約するなど、一部加工して表しています。また、一部の選択肢は記載していないため、標記されている数字の合計が100%にならない場合があります。※については、文部科学省「全国学力・学習状況調査(平成22年度調査)」の結果をもとに作成したものです。